



『レジリエンス』

～心豊かで、しなやかに生きる人の育成～

栗東市教育委員会 教育長 今井 義尚

今年度から昨年1年間をかけ練り上げてきた第4期栗東市教育振興基本計画がスタートしました。そして、今回今まで3期にわたって一貫して掲げてきた基本目標「心豊かにたくましく生きる人の育成」を「心豊かでしなやかに生きる人の育成～レジリエンスを高める栗東の教育」と変更しました。

現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である変動性(Volatility)、不確実性(Uncertainty)、複雑性(Complexity)、曖昧性(Ambiguity)の頭文字を取って「VUCA」の時代とも言われています。また、少子化・人口減少や高齢化、気候変動、子供の貧困、格差の固定化、社会のつながりの希薄化など様々な課題が山積しています。

こういった社会情勢の中、今後つけるべき力はこういったものかを考えたとき、今まで推し進めてきた「たくましさ」だけではなく、困難なことや心が折れるようなことに会っても、柳や竹のように「しなやか」に立ち直ってくる力(レジリエンス)が大切ではないかと思えます。

昨今の子育て・教育の中では子どもたちの自己肯定感を高めるため「褒める」ことが大切であると強調されています。しかし、子どもが失敗してくじけかけたとき、立ち直るための展望や方向性を示さず、根拠に乏しい声掛けをするだけでは、本当の自信や自己肯定感を高めることはできないのではないのでしょうか。また、家庭や校園ではややもすると失敗させないように「転ばぬ先の杖」的な配慮が多くみられますが、

本来子どもは失敗やトラブルの中で感性を高め、対人関係の築き方や困難の克服、挫折からの回復など「人としての力」を身につけていくものだと思います。うまくいかない今の状況をまず受け容れ、そこから勇気をもってその困難に向かっていくときに「しなやかさ」が生まれ、レジリエンスが高まる。そしてその経験が自信や自己肯定感となっていくのではないかと考えます。

子どもが困難に直面したとき、大人が解決するのではなく、子どもに寄り添い子ども自身が問題解決に向かえるよう支援することが大切です。しかし、それ以上に子どもに勇気を与えるのは、身近な大人の困難を乗り越える姿ではないかと思えます。「今の状況を受け容れ、そこから自分なりのやり方で立ち直っていく」という姿が身近にあるとき、子どもたちにとっては非常に心強いメッセージとなるのではないのでしょうか。こういった意味で子どもたちのレジリエンスを高め、失敗や心折れることからしなやかに立ち直ってくる力をつけるには身近な大人である私たちの生き方こそが大切だと思うのです。

こういう私自身も困難に出くわすたびに不安な思いで右往左往する日常を送っていますが、そういう自分であることを自覚しつつ、迷いながらも「今、ここ」に心を置き、道を歩いていきたいと思っています。

どうか今後とも「心豊かで、しなやかに生きる」子どもたちの育成にご尽力いただきますようお願いいたします。

【令和7年度 栗東市立教育研究所 運営概要図】

栗東市 教育方針

心豊かでしなやかに生きる人の育成
～レジリエンスを高める栗東の教育～

教育研究所

基本方針

栗東市教育方針に沿って、教育の今日的な課題の究明
及び解決に努め、栗東市教育の振興・充実に資する。

研究事業

調査研究

- 「RAARの視点を踏まえた学習による確かな学力の育成」
～言語活動をとり入れた「いち推シート」の活用を通して～
- I 質問紙調査による実態・変容の把握
 - II 「いち推シート」を活用した授業づくり
 - III 「いち推シート」を活用した授業実践・汎用性の効果検証

校内研究推進に向けた
教育研究所・研究員の派遣
学力向上に関する校内研究に研究員を派遣して支援

研修事業

教職員研修講座

就学前教育、小・中学校教育、一般教育、生徒指導・教育相談、特別支援教育等に関する内容

教育研究奨励事業

保育者・教職員の自発的な教育研究活動の促進。研究の進め方等に関する指導

就学前保育教育内容研修事業

信頼される園づくりのために、保育倫理の確立、保育の計画性、実践力等の専門性の向上

渉外・啓発

渉外

- 関係機関との連携
- ・滋賀県内教育研究所協議会
- ・滋賀県総合教育センター

啓発

- ・「教育研究所だより」の発行とホームページへの掲載
- ・教育研究奨励論文集の収録とホームページへの掲載

今日的課題の
究明・解決

指導力を
高める

関係機関との
連携

第23回 栗東市教育研究発表大会

研究奨励事業結果発表及び表彰・研究論文発表・調査研究発表・教育講演会

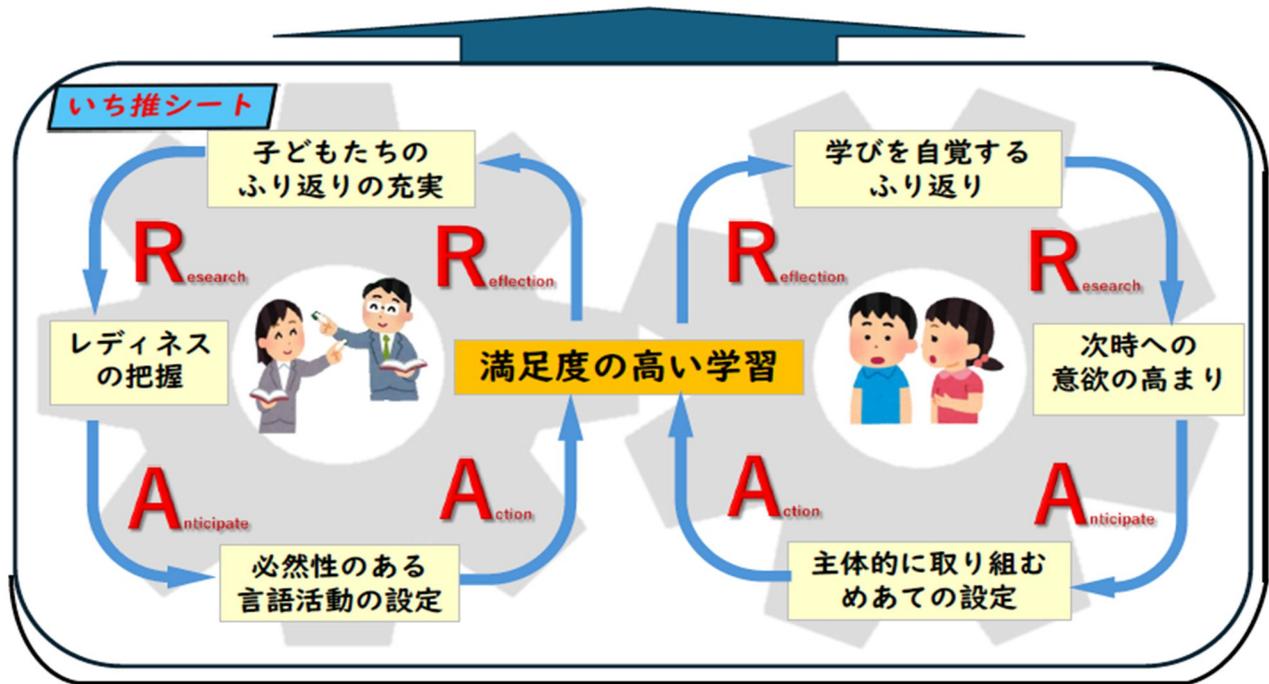


保育者・教職員の資質向上をめざします

【令和7年度 栗東市立教育研究所研究事業 概要の紹介】

『RAARの視点を踏まえた学習による確かな学力の育成』（1年次）
～言語活動をとり入れた「いち推シート」の活用を通して～

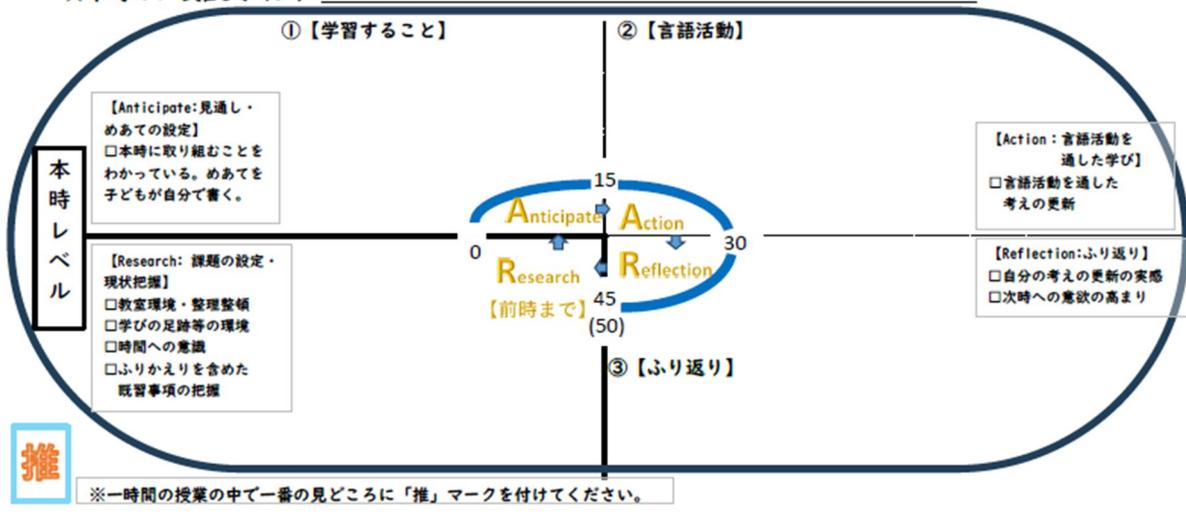
確かな学力



言語活動をとり入れた「いち推シート」（案）

単元名： (教材名：)	単元目標： (本時 ○ / ○)	指導日時：○時間目 授業者 (栗東 研究)
【課題の設定・現状把握】 Research	【見通し・めあての設定】 Anticipation	【言語活動を通した学び】 Action
□子どものレディネスの把握	□単元のゴールの姿の明示・共有	□言語活動をとり入れた、主体的・対話的で深い学びの展開
子どもに提示したもの（映像等も含む）： 子どもたちの単元のゴールの姿(どのようなことができるようになっているか)		
単元レベル		【振り返り】 Reflection
		□単元を俯瞰した・日常生活と関連するふりかえり

☆本時のいち推ポイント：



教育研究所 運営委員の紹介

市内の園長会、校長会、主任会、教務主任会の各代表の先生方に運営委員をお願いし、教育研究所の運営を展開していきます。運営委員の先生方をご紹介します。

園長会代表	大宝西幼稚園	園長	前田恵美
校長会代表	葉山東小学校	校長	山口敏生
主任会代表	金勝第2保育園	主任	玉井宏枝
教務主任会代表	治田東小学校	教諭	寺西慶通
教務主任会代表	大宝西小学校	教諭	藺田雄亮
教務主任会代表	葉山中学校	主幹教諭	吉川寛

- ◆今年度も、「夏期研修講座」や「教育研究奨励事業」を積極的に進めていきたいと思いを。教育研究所の研修講座等にふるってご参加ください。
- ◆保育・教育に役立つ講座等が提供できるように研究所運営を推進していきます。

教育研究所 所員の紹介

所長	田中弘樹	参事	澤居則晶
副所長	小幡庫士		
研修・研究係長	森 聡	研修・研究係長	山本 致子
研修・研究係長	稗田 将	主 幹	小林 美恵
研修主事	森 耕平	研修主事	森下 一司
研修主事	辻 顕史	研修主事	松田 愛
研修主事	井上 裕司	研究員	脇坂 浩之
学務係	大久保 諭	吉川 しのぶ	向 勇人 佐本 彬典

〒520-3088 栗東市安養寺一丁目 13-33
栗東市教育委員会事務局内
TEL 077-551-0130 ・ FAX 077-551-0149
E-mail kenkyusho@city.ritto.lg.jp